

על-פלגים

流れのほとり

連絡先 〒807-8691 北九州市八幡南郵便局私書箱 26 号 本 部 TEL&FAX 093(692)8592
所在地 〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町 2-3-13 北九州市 YMCA 内
ホームページ <http://bible-school.name/> E-Mail hope_to_tomorrow.y@san.bbq.jp

北九州信徒聖書学校で
学びませんか

日本イエスキリスト教団小倉教会牧師
前校長 森上 洋介

私は 2000 年から 2006 年まで、校長としてご奉仕をさせていただきました。少し本校のことを説明させていただきます。是非皆さんの友人、知人の方々に、入学を勧めていただきたいからです。

本校の歴史

これは創立者の山口晶久先生から伺った話です。先生が、若い時に所属教会のご婦人が信仰を持たれた。より深く聖書を学びたいと思い立ち、幾つかの神学校や聖書学校に問い合わせた。ところが色々と入学の条件などがあって、実現しなかった。これを聞かれた先生は 1981 年に「誰でもが学べる信徒のための聖書学校を設立したい」との祈りを始められた。すると賛同し協力する教会、牧師、信徒、宣教師が次々と起こされた。そこで 1982 年に設立準備委員会が組織され、学校の名称、運営主体の理事会、授業内容、授業の教室、必要経費な

どの検討がなされ、1985 年 5 月に「超教派・北九州信徒聖書学校」として開校式を迎えるに至った。学校長は河田一雄牧師、一期生の入学者 26 名、語学科は 3 名。開校記念公開講演会の講師は加藤常昭師（鎌倉雪ノ下教会牧師、東京神学大学教授）であった。

以上が山口先生から伺った開校までの歩みです。その後はさまざまな要望に応じて、本科を卒業した人を対象に研究科、専攻科、説教者コースなどが設置され、ビデオによる通信教育も開始されました。それだけでなく内外で活躍しておられる著名なクリスチャを講師に招いての公開講演会、そして同窓会の結成、信徒の霊的向上を願ってのピスガ聖会開催など。また、韓国の青年たちを迎えてのゴスペル大会、韓国釜山市の水営路教会への研修旅行、緒々のことが行なれて来ました。

現在まで本校で学んで卒業証書、或いは修了証書、認定証書を授与された兄弟姉妹は 200 人を超えました。また通信教育の制度が設けられた結果、全国各地、韓国、アメリカ、オーストラリアからも入学され学ばれました。

本校の特色

名称の「超教派・北九州信徒聖書学校」に特色の全部が含まれています。第一は、超教派という言葉です。それぞれの教団、教会の信仰の流れを尊重しながらも、イエスさまにあって教会は一致協力出来るというエキュメニカルな立場です。本校は①使徒信条を受け入れ、②聖書を神の言葉として受け入れ、③イエスさまを救い主として受け入れておけば、④教会の政治制度の違い、⑤各教団や教会が強調する特定の教理や実践項目は問題にしません。以前カトリック教会に属する人も卒業しました。

第二は、学ぶ場所です。この北九州という地域にあることが大事なことと思っています。遠隔地にあると通学が困難です。北九州市とその周辺、並びに下関市からは通学が可能です。

第三は、学ぶ人の立場です。本校は一切の学歴、年齢は問いません。どこかの教会に属して受洗信徒であって、聖書や信仰のことを学んで、イエスさまにお仕えしたいという願いがあれば、無条件に入学できます。入学試験はありません。入学申し込み書に指定の事項を記入し、所属教会の牧師先生の推薦と署名捺印があれば入学できます。校納金についても無理のないように最大限の配慮をしています。たとえば分割納入など。

第四は、聖書学校という言葉です。単に聖書の知識を増やすだけでしたら聖書を読み、参考書籍を読めばこと足ります。学校という形式は教師と学生が向き合って学ぶ中で人格的な交流が生まれ、読書だけでは得られない霊的、精神的な深みが生じて来ます。勿論学ぶのは聖書そのものです。

実際の授業

本校の授業は3学期制です。教室は北九州YMCA(〒802-0004 北九州市小倉北区

鍛冶町2丁目3-13)の4階の教室を使っています。授業時間は毎週金曜日の夕方7時～8時50分間迄です。7時～7時20分は「チャペル」称する全体礼拝です。奨励者には市内の牧師、信徒の方20数名にお願いしています。7時20分から8時50分迄が講義です。

主な教科は野村幸生校長、廣川和行教頭を中心にした市内の牧師で組織する「北九州信徒聖書学校教師会」が担当します。専門教科のカリキュラムでは、福音宣教の対象である日本文化や他宗教との関わり、キリスト教葬儀、教会音楽などは、その方面に秀でた牧師、信徒の方々に講義を委嘱しています。

カリキュラムは隔年制です。一年目が旧約聖書、二年目が新約聖書を中心に学習します。研究科、専攻科は別のカリキュラムを準備しています。

お願い

以上、本校についてお話いたしました。ここ10年来の現象ですが、牧師や伝道者、宣教師を養成する各大学の神学部、各種神学校や聖書学校の入学希望者が激減しました。本校も同じ傾向にあります。このような状況の理由は、いろいろと指摘されていますが、日本社会と同じで、教会員の高齢化と青年層の激減と言われます。

それは、それとして、皆さんの教会の青年、ご婦人、退職なさった壮年の兄弟姉妹で、聖書を学んで教会に仕えたいと願っておられる方がおられるでしょう。どうぞ、本校をご紹介下さり、入学をお勧め下さいますようお願いいたします。宜しく願います。

2011年度卒業式

日時 2012年3月23日(金) 午後7時

場所 北九州YMCA

開式の辞 聖書祈祷 ピリピ書2章12～16節 教師原田昌樹 賛美歌338「主よ
おわりまで」 氏名点呼 教師塩屋 弘 特
別演奏 金 度亨牧師 証書授与 式辞 野
村幸生校長 聖歌582「神の御子にますイエス」祝辞 山口晶久理事長 頌栄540
「みめぐみあふるる」祝祷 教師塩屋 弘
閉式の辞

卒業生及び修了生

□ 本科 通学 第25期生

石黒 晴恵(北九州福音センター)

本科 通信 第16期生

寺田 京子

(聴講生修了・日吉台キリスト教会)

原 順子

(日本キリスト兄弟団新下関教会)

以上3名の方が2年間の学びを恵みの内にな
さり卒業及び修了なされた。

卒業式後に午後8時より第24回北九州信
徒聖書学校同窓会総会が開催される。

司会 木本正徳会長 賛美歌87B 聖書
ピリピ書2章13～15節 祈祷 議長選出
議事 会長挨拶 活動報告 会計報告201
1年決算 2012年予算承認 会計監査報
告 役員改選 閉会祈祷 泉カヨコ副会長に
よって閉会。

2011年度 同窓会の活動

① 第24回同窓会総会、懇親会

期日 2011年3月25日

会場 北九州YMCA

参加者 23名

奉仕 案内状・各報告資料の準備と発送

② 第9回教会訪問とセミナー

期日 2011年9月23日(金)

ウエスレアン・ホーリネス教団戸畑高峰教会

テーマ 「霊に燃え主に仕える」

講師 塩屋 弘牧師

賛美指導 山本昌子姉、協議、懇談

参加13名参加

③ 特別講義

期日 11月4日(金)、11日(金)

テーマ 「ディボーションの理論と実践」

講師 福岡六本松キリスト福音教会牧
師・福岡栄光病院総院長 折田泰彦師

④ 祈り会と幹事会(宣教ホームピスガ建設 のために)、毎月一週の日曜日に実施、会 場 北九州YMCA

2012年度役員

会 長 木本 正徳(本科12期生)

副会長 泉 カヨコ(本科 5期生)

書 記 住田美智子(本科 7期生)

会 計 糸山 恵(本科 3期生)

監 査 田仲 貞子(本科 4期生)

〃 立石 才子(本科18期生)

の方々が承認される。その後本校の教師、同
窓生、卒業生、在校生が集い同窓会主催の懇
親会が開催された。

同窓会2012年度のビジョン

1. 宣教ホームの建設のため祈りと支援を呼
びかける。(土地が購入された)
2. 信徒聖書学校のため祈りと財政支援の呼
びかけを続ける(入学者が与えられるよ
うに祈る)。
3. 信徒聖書学校のため事務の働きを支援す
る。
4. 入学式・卒業式の参加と茶話会の準備を
する。
5. 公開講演会・公開授業の支援参加をする。
6. 同窓会の横の繋がりを深めていく。
7. 「流れのほitori」誌への投稿(証しや近
況報告など)をする。
8. 同窓会主催の10回目、「教会訪問とセ

ミナー」を継続する。日本バプテスト連盟シオン山教会の予定。

上記のように同窓会2012度ビジョンとして総会にて承認された。

宣教ホームピスガ建設支援のお願い

主の尊い聖名を崇めて賛美します。北九州聖書学校は、来る5月で創立27年を迎えるに至りました。本当に感謝の他ありません。これも、同窓会の皆さまは云うに及ばず、諸教会の皆さまの熱いお祈りと暖かいご支援があつてのことです。深い感謝を申し上げます。

さて、本校が創立当時に福音宣教の業のために三つの祈りがなされたと聞いています。第一、聖書学校の設立、第二は海外宣教への関わり、第三は宣教ホームを造ることでありました。すでに第一、第二は実現され、そして長い絶え間ない祈りの内に第三の働きが実現しようとしています。

2003年4月に度重なる関係諸氏の検討の結果、本校創立20周年記念事業として、宣教ホーム建設用地取得のために祈りと募金（寄付金）が開始されました。しかし、思うように資金は集まらず、また立地条件を満たす土地を探し出せず、実現には全ての面でほど遠い月日が経きました。その間、学校関係者と私たち同窓会幹事は毎月第一金曜日に学校に集まり、授業前の礼拝に参加し、その後の幹事会で「宣教ホーム建設」のために祈り続けてきました。

そして、昨年12月学校より、JR鹿児島本線水巻駅徒歩3分に利便性の良い建設用地182坪が確保購入されたことが報告されました。いよいよ建物の宣教ホームピスガ建設が力強く進もうとしています。

趣 旨 福音的聖書信仰によって運営され、キリスト教の愛と奉仕と宣教のスピリットに堅く立ち、神への敬虔な思いをもって、一人ひとりに謙虚に仕える生活共同体を実現する施設を目指す。

目 的 一人暮らしや夫婦の方で、家庭環境や住宅事情等で、その生活が不安な60歳以上の方に入居していただき、明るく健康的な家庭生活の場を提供する。

施設概要 名称 宣教ホームピスガ
ピスガ 「モーセはそこから約束の地を望み見た」（申命記3章27節）

建設用地 福岡県遠賀郡水巻町頃末南3丁目48-1、2（182坪）

併設施設 北九州信徒聖書学校本部事務所、教室、礼拝室、図書室等

今年中には建物の建設が始まると聞いています。同窓生の皆さま、引き続き日々のお祈りに加えて下さり、是非とも実現へのご支援を賜りたく、ここにお願い申し上げます。

2012年3月

北九州信徒聖書学校

同窓会々長 木本 正徳 幹事会一同

編集後記

春暖の候 桜の開花が例年に比べて遅れた。ここ北九州では小中学校入学式前後での満開となった。青空に映える淡いピンク色の輝きは、いつも感動する。皆さまのお住まいになる所で見られる桜花は如何でしょうか。いつも変わらぬ本校へのご加禱とご支援に深い感謝を申し上げます。